

**御意見・御質問コーナーに寄せられた御意見御質問**  
**(期間：平成25年6月1日～平成25年9月3日)**

## 原子力委員会原子力規制委員会自体解体解散

○年 齢 : 26歳～30歳

○性 別 : 男

○職 業 : その他

○都道府県名: 広島県

○御意見の内容:

原子力委員会原子力規制委員会自体解体解散原子力規制委員会原子  
力委員会解体解散

## 回収した汚染水の減量化についての案

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 東京都

○御意見の内容:

現在、回収した多量で低濃度の汚染水を多くの貯蔵タンクに保存している。これの水分のみ蒸発させて減量し、保管区域を決めて許容できる放射能濃度まで濃縮した汚染水とすれば、スペースが大幅に節約できる。その方法として、天然の太陽熱を利用すれば燃料費は不要です。具体的には、太陽光を集める集光場所を作成して、汚染水を循環させてすこしずつ減容していく。その際に水分が蒸発して大気中に出る場所に放射線フィルターを設置してモニターしておけば簡単で安心です。設置場所と濃縮率さえ決めておけば、ゆっくりと自然に減容化が達成できます。

これから夏に向けて検討をしてはいかがでしょうか？

## 汚染水漏洩土壌対策案の土壌冷凍案について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 佐賀県

○御意見の内容:

汚染水漏洩による土壌汚染を防ぐため タンク下の土壌を凍結させる案がテレビでありましたが 長期に渡り膨大な電力が必要になると思います。

この案を採用するという前提で 冬に北日本各地で降った雪 除雪で出た雪を冷媒の再冷却に利用するという案はどうでしょうか。

夏場まで保存できるほど大量に保存できるならば 夏場の使用電力を削減することが可能かもしれません。

## 福島原発の汚染水の削減について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 団体職員

○都道府県名: 広島県

○御意見の内容:

福島原発の汚染水の増加は、原子力建屋に穴が空いていて、地下水が流入するからとのことですが、建屋の外側壁面に沿って穴を開けながら水中でも固まるような速乾性のコンクリートを流し込んでみてはどうなのでしょうか??

建屋側にコンクリートが流れ込むのが問題ならば、壁に沿って鉄板を打ち込み、その外側にコンクリートを流し込むとか??

素人考えなんですけど…

## 福島原発の廃炉工程についての一考察

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 東京都

○御意見の内容:

本日 6/12 の毎日新聞の朝刊社説で東電福島第1原発の廃炉工程のことが載っていた。溶融燃料の取り出しが最難関作業ということであった。私はこの廃炉工程に高レベル処分場の技術と再処理工場の技術の適用を提案する。高レベル処分場の技術は地下に安定にトンネルを掘り、そこに高レベル廃棄物であるガラス固化体を貯蔵するが、この技術を使い、福島原発の溶融燃料の下部まで掘り、そこでコアキャッチャー等で溶融炉心を封じ込める。封じ込めた溶融燃料は六ヶ所再処理工場で再処理するか、または福島原発の地下でミニ再処理工場を作り、処理する。また、1Sv/h 前後の線量率の高いところの下部にトンネルを掘り、そこに硝酸溶液を流し、それを下部で回収する。これらの除染作業により線量率を下げ、デコミ技術を適用すれば、廃炉工程を短縮できるのではないか。

## 原発稼働申請の前に確認しておく事

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 千葉県

○御意見の内容:

原発稼働を電力会社の申請が続いているが稼働前に解決させる重要な項目あり。電力会社は稼働だけを一生懸命だが、政府で良くご検討願う。内容は「稼働後の核燃料処理について何も決まっていない。」福島の場合も処理できない土や水が沢山ある。だから原発稼働で発生する核燃料の廃棄物を処理できない。もし、福島のように事故が発生したらどうするのか。今稼働しなければ、原子力発電所を処理用地に利用でる。今のままでは日本の核燃料汚染を食い止められないと考える。稼働だけでなく、処理まで完全にできるようになるまで、停止させるのが一番と考える。稼働させる安全基準だけでなく、停止や事故で出てくる核廃棄処理も含めた基準が必要ではないか。今、無理に稼働させなくても、国民は省エネを推進できる。この為電力不足は発生しないと思う。また、電力料金アップになれば自己負担でも太陽光発電や風力発電を個人で行っていくのが、日本人ではないか。内閣、自民党であれば、原子力発電を稼働させなくても今の電力事情は乗り切れると考える。都内のヒートアイランドも遮熱塗料を屋上、道路に塗布すれば、暑さを軽減できる。色々なことを考えて実施願う。日本万歳以上

## 核の使用について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 山梨県

○御質問の内容:

人類は、本当に核の制御は出来るのですか？福島事故もまだ解決していないのに本当に大丈夫なのですか？制御出来るのであれば、事故は起きなかったと思いますがいかがですか？



## 井戸水放射能汚染の海洋への影響について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 徳島県

○御意見の内容:

### その1

福島第1原発の安定化作業 で取り上げた4件中2～4件を表示しています。 [ 前のページ | 次のページ ]

汚染水 海への拡散疑い強い - 国内 7月10日(水)19時12分～11日(木)12時33分

高濃度の放射性物質が検出された井戸(毎日新聞)

汚染地下水問題 規制委「海への拡散が強く疑われる」

福島第一原発で地下水から高濃度の放射性物質が検出された問題。東京電力の説明よりも深刻な事態なのかもしれません。東電は「環境への大きな影響はない」としていましたが、原子力規制委員会は10日、「海への拡散が強く疑われる」と危機感を示しました。(TBS系(JNN))  
[映像ニュース]

### ◆原因特定を急ぐ

・ 委員長「汚染続いている」=福島第1の高濃度地下水—規制委 - 海側の井戸や港の海水では放射性物質濃度が上昇しているが、原因は分かっていない。時事通信(7月10日)

## 井戸水の放射能汚染と海洋汚染について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 徳島県

○御意見の内容:

### その2

◇東電が取っている対策は

- ・ [写真]福島第一原子力発電所1・2号機取水口間の護岸における地盤改良工事(薬液注入)について - 東京電力(7月9日)
- ・ 報道関係各位一斉メール 2013年 - 東京電力

◇廃炉作業の大きな「壁」である汚染水

- ・ 【シリーズ復興】「最大の課題」原発汚染水のいま - Yahoo!みんなの政治
- ・ 福島原発、終わりのない「水」との戦い - 東洋経済オンライン(6月20日)

◇ベクレルとは

- ・ シーベルト(Sv)とベクレル(Bq) - 人体に与える影響は、放射性物質の放射エネルギーの大きさ、放射線を受ける身体の部位なども考慮した数値(シーベルト)で比較する必要。東北電力
- ・ 【解説】放射性物質の新しい基準はどの程度厳しいのか? - NHK「かぶん」ブログ(2012年4月3日)

## 放射性廃棄物の処理

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 神奈川県

○御意見の内容:

「廃棄物を何処へ処理するか」が解決しないまま除染を進めるのは如何なものでしょうか。内閣府は実情が分かっているにも拘わらず、見て見ぬ振りをしながら、火の粉を被らないようにと、全うな意見を述べないで成り行きに任せているように見える。

第一原発の処理どころか、問題は積み重なるばかりである。私共が知り得る「現場の状況」をみても、ここ 10～20年帰る見込めない第一原発周辺住宅地、山野は膨大に広がっている。

福島第一原発で起きた事故の放射性物質の処理は第一原発周辺で処理するのが常識で、国有地とは言え、第一原発から遥か離れた住宅地の奥の山野に埋める計画など「何が根拠となって、そんな結論になるのか」理解できない。

「被害を各地に広げようとしているのか」との疑念迄出てくる。

全国に広がる原発被災者に「現状を詳らかにして」いくつかの町作りのための「国有地の活用」を含めて、積極的な指針の作成と実行をお願い致します。誰かが火の粉を被らずして、この問題は解決しないと思います。

## 福島原子力発電所の当面の解決について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 福岡県

○御意見の内容:

現状を考えますと、時間との戦いかと思います

あの原子炉をどうするか対策も、もちろん必要ですが、取りあえず、原子炉が面している海を埋め立てる事くらいしか思いつきませんが、如何でしょうか？

時間を稼ぐ事が、汚染を拡大させない事からスタートするべきです

その為に、1兆円の予算位用意すべきです

今やれば間に合うのでは？

## 福島第一原発の除染について

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名:千葉県

○御意見の内容:

福島第一原発の除染には膨大な費用と人員と時間が掛かります。国の放射能基準以下にするには、これからどれ位の費用と人員と時間が掛かるか解りません。そして、除染の被曝物の最終処分場も決っていません。この様な状況下では即刻作業を中止すべきです。ロシアのチェルノブイリ原発の処理の様に、立ち入りと居住を20Km以内は禁止し、避難者には代替居住地と賠償金を国と東電が支払うべきです。7月23日に産業技術総合研究所が除染費用に5兆1300億円掛かると試算発表されました。

この5兆円を除染不要の原資として、避難住民20万人に1人当たり2500万円の賠償金を支払うべきです。

避難住民の方々も賠償金として1人2500万円手元に入れば、生活設計も建てられると思います。これは国の政策として、決定すべきです。賛同される避難住民の方々も多いと思います。

今は、何も示されないまま、手元資金もないので何もできない状況と思います。国は政策方針を出し、避難住民の方々の要望にも耳を傾け、説得することです。ただし、福島第一原発の廃炉処理は迅速に、完全に実行してください。

## 日本の電力

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 東京都

○御質問の内容:

現在、原子力発電所は核分裂反応による発電方法だと思いましたが、核融合による発電は行わないんですか？研究費用が高いからしないのか、国民の理解が得にくいからなのか、どちらですか？世界で初めて、核融合による発電を成功させるという事は可能ですか？

## 日米原子力協定

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 埼玉県

○御意見の内容:

2018年に期限の来る日米原子力協定ですが、今回は更新せず、破棄してください。

もう日本には原子力発電は必要ありません。

再稼働を行っても使用済み燃料の処分場もなく、せいぜい数年しか運転できません。これからは廃炉技術を磨いて頂き、そちらの技術を生かして海外にも廃炉の新技术を売って下さい。

どうぞ宜しくお願い致します。

## 原子力から地熱発電、クリーンエネルギーへ

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 神奈川県

○御意見の内容:

地熱発電は現在資源エネルギー庁が全国14カ所で進行中と聞きました。

世界では、アメリカの発電量に続き、フィリピン、インドネシアがトップをいっています。フィリピンにおいては日本の資源量の約4分の1にもかかわらず、日本の発電を優に超えています。日本は地熱発電と太陽光発電で原発に替わるエネルギーになると思います。原発につきましては、今すぐにでも世界のトップの原子力研究員を招集し、いくら莫大な資金がかかっても今の福島の後処理作業の効率のいいやり方を世界のトップの知識で見つけていくべきです。世界の誰にとっても初めてで、未知なる挑戦です。たまたま東京電力に勤めていた人にその責任を負わせるのは人類の問題を押し付けていることと同じことです。もし廃炉にする技術が日本で発見できれば世界の原子力をなくす時に必ず必要となる知識です。世界から求められる技術となり、それが経済へと跳ね返って来ることでしょう。50年後の地球を創造してください。今政治家の方々はもうほとんどこの世にいらっやらないでしょう。3代、4代先の子孫が安心して暮らせるこのきれいな地球を守る道筋を作る責任を今の政治家の方々は担っています。



## 原子力から地熱発電、クリーンエネルギーへ

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 神奈川県

○御意見の内容:

太陽光発電を世界で一番始めに開発したのは日本でした。しかし、ドイツ、韓国に普及率をどんどん抜かれました。それは、補助金の額が日本はとても微々たる物だったからです。予算はかかるかもしれませんが、でも、長い長い目で考えてください。補助金をたくさん出すことによって、屋根のある家全てに太陽光発電が乗ったとします。それは、もしかしたら、すごい発電量になり、原発などに頼らず暮らせる答えになるかもしれません。例えば、これから新築を建てる人たちには、半額国が持てれば、太陽光の普及率はどんどん上がっていきます。企業への補助金もそうです。企業が一社の乗せれば発電量も大きいです。東北大震災で日本は世界に原発を廃炉にする技術を生み出し、世界へその技術を提供し、地球の未来を、子供たちの健康と安全を守る、アイスランド、フィリピン、インドネシア、アメリカへ人を派遣し、地熱発電の最先端をそれぞれの地域から持ち帰り、日本の地熱発電の建設に役立ててほしいです。世界トップの地熱発電国にしましょう。廃炉技術を世界へ提供しましょう。今は、その実験材料から学ぶ時なのです。

## 東京電力の企業年金は廃止すべきではないか？

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 岩手県

○御意見の内容:

コスト削減の為に対策を怠るという身勝手な理由で起きた人災の処理費用に多額の税金が投入されている。

通常の企業であれば破産状態であり、OB に対し年金を払う義務があるようには思えず、必要性も感じられない。

現役社員の待遇をこれ以上悪化させないよう、また、賠償に遅れが出ないように企業年金は廃止を希望する。

どうしても受給したい方には廃炉作業従事を条件にすべきではないか？

## 原子力発電の安全対策

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 千葉県

○御意見の内容 :

原子力発電も事故対応だけでなく廃棄物処理という大きな問題もあり、徐々に他のエネルギーに変換せざるを得ないでしょう。フィンランドのように岩の島を地下 400m 以上掘り下げ、30 万年分の使用済み核燃料が保管出来れば別ですが、日本では使用済み燃料の保管に行き詰まり、稼働しても数基に留めざるを得ないと思います。いずれは再生可能なエネルギーに変えることになるので、開発を急ぐべきです。それまでの間は原発を動かさざるを得ないでしょう。その原発についても当面運転するについては循環型冷却が確保できるよう、ポンプや電源を山側に2重3重に設置する安全対策が必要です。福島原発も予備の電源が山側にあるか移動可能な電源があり冷却が出来ていれば起きなかったのです。代替エネルギーとしては太陽光、風力だけでは不安定ですので、小型の火力発電設備を地域に分散し、燃料として藻類や菌類の産生する炭化水素を利用する開発を行うべきです。国はこういう新エネルギー開発に投資すべきです。日本は他の先進国に比べ科学技術への国の投資が少なすぎると思います。日本は技術力で生きていくしか道はありません。

## 電力事故対策への提言

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 福岡県

○御意見の内容 :

汚染水については国が関与することとなりましたが、原発事故対応がそのまま東電まかせになることを大変危惧しております。東電が現在の財務状況のまま人類史上稀に見る事故への対応をしていくのは無理があるでしょう。

そこで一つ提言があります。

まず、国が高効率の火力発電所を数基作ります。GTCCなどがよいと思います。

そして東電に一定期間、かなり安い金額で貸し出します。

そうすることで東電の財務状況が安定し、事故対応や賠償費用の支払いがスムーズになります。

ある期間がくれば東電に貸し出していた発電所を他社へ売却します。税金で作った発電所の建設費用が回収できるだけでなく、ライバル会社が誕生することで東電の内部の改革にも繋がるとは思いますがいかがでしょうか。

個人的には原発再稼働に賛成ですが、重大事故への対応を怠った東電だけには稼働を認めない方策もアリだと思えます。

## 福島原発事故収束について

○年 齢 : 66歳～70歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 兵庫県

○御意見の内容:

東電主体の事故収束には期待できない状況となっています  
国が前面に立って事故収束を決断すべき時期に来ています  
世界で経験したことのない廃炉に本格的に国として取組んでほしい

## 外国へ原子力発電所の売り込みについて

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 岐阜県

○御意見の内容 :

世界で唯一の被爆国であり原子力のおそろしさを一番わかっているのは日本であり核廃絶の先頭を行くべき日本が売り込みなんて考えられない  
しまだ安全性の確保は未定であるし福島原発においても全く進展していないこんな状況下で考えられない  
経済の活性化も大切ですがもっともっと大切なものが核廃絶です  
これ以上なものはありません

## 福島第一原発の汚染水について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 神奈川県

○御質問の内容:

初めてメールします！！

福島第一原発の汚染水についてですが、対応が後手後手すぎて、どうにかならないものでしょうか？

素人考えで申し訳ないのですが、セシウムなどの放射性物質を除去したあとにその水を使って水力発電などできないでしょうか？

汚染水は増える一方！！また、漏水なども増えてきています。

海に流すのも海洋汚染が心配なので、なにか有効利用できる術はないのでしょうか？？

## 福島原発の汚水対策の怠慢など

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 福岡県

○御意見の内容:

一連の福島原発に対する国の対応は、素人と同じ。全く危機感がない。原発に関する問題点やそれに伴う予算を国民に全部明らかにしてほしい。その予算の財源をきちんと説明する責任がある。先日、福島原発に伴う放射能汚染土壌の処分費用が、11兆円から33兆円かかるなどと記事を見たが、私は、福島原発に伴う対策費用は、100兆円は軽く超えると思う。国や東電は、真剣に原発に対する対策を考えていない。原発は即刻廃止し、他エネルギーに転換した方が税金の無駄使いをなくすばかりか、将来の環境にとってもやさしいはず。原因は、いろいろとあると思うが、政治家と企業との癒着が根本。電力会社が自民党を応援している内は、また、応援を受けている内は、原発の問題は一向に解決しない。選挙のための政治活動しかない。国はすぐに滅びてしまう。後、10年は持たない。日本人は、国外に逃げる。今の納税額が10倍も膨らんだら、日本での生活ができない。日本は、福祉、少子化、環境悪化に対する税金の投入などの問題が深刻。収入の減少により国の収入が支出を超えることは絶対にあり得ないし、国債も10年後には3000兆円に達している。日本に未来はない。



## 福島原発からでている汚染水の処理について

○年 齢 : 20歳以下

○性 別 : 男性

○職 業 : 学生

○都道府県名 : 奈良県

○御質問の内容:

福島原発からでている汚染水の処理として、今はタンクに貯めてるといふのをずいぶん前からニュースなどでやってますが、貯めてるためにタンクを作らなくてはいけなく費用もかかるし、場所ももっと必要になり汚染水タンクで溢れてしまうと思います。

そこで質問なのですが、汚染水を熱し、水だけを蒸発させて汚染物と分離することなどできないのでしょうか？

これならまだ加熱の費用と分離した汚染物だけを貯めておくことができ、水の分のかさが少なくなり場所も処理前より少なくてすむと思うのですが…原子力に対してほとんど知識のない高校生のしょうもない質問かもしれませんが、どうか回答よろしくお願いします。

## 福島原発に対する国の対応

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 福岡県

○御意見の内容:

福島原発の放射能汚水問題は、今始まった問題ではない。福島原発は、元々東京電力が開発したもので、管理も東京電力のはず。2011. 3. 11 発生した東北沖大地震から東京電力の福島原発事故に対する対応策は、全くの素人のやることしかいいようがない。これからも福島原発にかかる放射能汚染の環境問題が次から次に出てくるだろう。それに対する東電は、後手の試行錯誤の対策しかできない。東北地震から2年6ヶ月の経過が達したにもかかわらず、まだ、何一つ解決がない。今後、10年経っても同じだろう。

であれば、国は、もっと危機感を持ち責任を持ちこの福島原発にまつわる問題を早急に解決するように、対策、組織体制、世界からの英知を収集、対策事項を国民に早急に報道すべき。他の国の問題を先送りしても、早急にやり抜く覚悟を示してほしい。

**もしまた、津波が来たら**

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 東京都

○御意見の内容:

福島第一原発 汚染水のタンク、もしまた、大きな津波が来たら、あのタンクに入れられた、汚染水は？ 漏れない？ 津波が来ない？ 来ても大丈夫！

地震が起きる事を前提に、津波が起きる事を前提に、考えているのだろうか？

## 福島第一原発事故対策について

○年 齢 : 66歳～70歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 東京都

○御意見の内容:

汚染水の国が前面に立って対策するという総理判断を歓迎します  
汚染水処理に限らず廃炉処理ひいては今回の原発事故完全処理に向けて国が前面に立ち世界に示せる原発廃炉技術の確立につなげ国力を高めていけたらいいと思います。今回の英断ありがとうございます。

## 福島原発の放射能汚染水処理について

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 神奈川県

○御意見の内容:

壊れた原子炉から際限なく流れ出る汚染水を止める必要があります。

これには元を断つ... 地下水脈の上流に井戸を掘って水を汲み出し、地下水面を下げ、原子炉への水の流入を止めるのが有効です。  
大掛かりな工事になりますが、出て来てしまった高濃度汚染水を扱うよりも遥かに安全に低コストで実施できます。

まず、上流の地下水脈を地中レーダーや音波探査機で調査して有効な場所を幾つか選定します。  
速やかにボーリング、汲み出しを開始し、汲み出す水に放射性物質が混入して来るまで地下水面を下げます。更に上流に井戸を掘って水を抜いた後にトンネル工事で使う漏水防止剤(PVA 等)を注入して地下水脈を塞ぎます。

このような計画は早期に外国にも報道して、対策が進んでいる事を示す必要があると思います。

## 汚染水の処理方法に関して

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名:大分県

○御意見の内容:

### 汚染水の解決方法について

約一キロのコンクリート敷いて、水路を10本程度作る。

その上に砂利や砂、放射性物質を吸着しやすい素材を敷く、途中僅かな磁性を利用した電磁力設けたりして一本通したら、隣の水路に通して、全長10キロで濾過させる。

キロ単位での大規模な濾過施設で放射性物質を濾過したら大部分の放射性物質の除去が可能ではないでしょうか？多分少なくとも現状よりは遥かにリスクは少なくなると思います。

あと、広大な土地は、避難区域とかに設置するのが理想だと思います。

もし、広大な土地が不可能であれば、立体の階層型にすれば10階建てなら単純に100メートル四方で10キロは出来る計算になります。

汚染水をそのままにしておくのではなく濾過させてリスクを避ける方法は単純ですが有効ではないでしょうか？

## 福島原発の漏水漏れ対策について

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 埼玉県

○御意見の内容:

政府で考えている標記考えに問題がある。

政府の考えは

1.冷凍止水

2.泥とセメントを攪拌した止水壁

これらは建築的には仮設のものでその場しのぎである。

2年前に本格的な地中連続壁を設置すべきであった。

今からでもやらなければならない。

計画的に工区分けをする、機械配置、人員配置、工事用動線等々総合的  
施工計画がなされれば最短施工は可能と考える。

そもそも地中連続壁の見積を1000億と出したのはだれか。

—以上—

## 原子力委員会について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 北海道

○御質問の内容:

現在、原子力行政はどうなっているのでしょうか？貴内閣府原子力委員会が設置されており、一方経済産業省、資源エネルギー庁にも総合政策課、原子力サイクル課等があり、環境省に原子力規制帳が有るようです。

貴原子力委員会の報告書(平成22年5月25日)では、成長に向けた原子力戦略となっていて稼働率の向上、立地の為の電源三法にも言及されております。一方2008年9月2日の政策評価部会の報告書では、放射性廃棄物の処分方法が記述されていますが、その後がわかりません。幌延町の研究施設は出水があったと報道されましたが、解決したのでしょうか？また、MOX燃料を使用した時の廃棄物の処分方法、メルトダウンした燃料は記述がないように思いましたが、如何ですか？

報告書リスト一覧はすべて西暦表示でしたが、一方の報告書は和暦表示でした、委員会内で仕様が統一されていないのは不自然です、改ざんですか？



## 研究組織に値しない原子力機構の解体を求める抗議文

○年 齢 : 記載なし

○性 別 : 記載なし

○職 業 : 記載なし

○都道府県名 : 北海道

○御意見の内容 :

幌延深地層研究計画は2000年度に開始されました。当初の1984年に出された「貯蔵工学センター」計画は高レベル放射性廃棄物と TRU 廃棄物の中間貯蔵設備でした。

深地層研究計画では、①放射性廃棄物は持ち込みや仕様はしない、②研究所を最終処分実施主体へ譲渡・貸与しない。③研究終了後は地上施設は閉鎖し地下施設を埋め戻す。④幌延町に放射性廃棄物の中間貯蔵施設を将来とも設置しない。となっています(3者協定)。計画期間は20年となっていますが、いまだに埋め戻しを含めた全体の明確な計画は示されていません。これは、地元住民・道民の反対を押し切って3者協定により進めている施設として誠に不誠実な態度と言わざるを得ません。

幌延深地層研究計画を進める独立行政法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」)は、1956年6月に設立された特殊法人日本原子力研究所と、その業務の一部を引き継いで1967年に設置された特殊法人動力炉・核燃料開発事業団(以下、「動燃」)が1998年10月に核燃料サイクル開発機構に改組されその後、2005年10月に日本原子力研究所と再び統合された組織です。動燃が改組されたのは、主事業の高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏れの大事故、さらに東海村でアスファルト固化施設の火災・爆発事故を起こし、その事故を隠蔽したことで組織体質が明らかになったからです。

動燃は、幌延での当初計画である「貯蔵工学センター計画」に反対する住民・道民を機動隊を使って排除し事業を進めてきました。都合の悪いところはかくして事業だけは権力的に進めるというやりかたは原子力機構の今も変わっていません。幌延の事業で使われてきた何百億という予算・決算の詳細は何度求めても明らかにされませんし、幌延地下施設

で今年2月に大量の湧水とそれに伴うガス濃度が上昇した事故においても、事故処理が終了してからその内容を明らかにし、「すぐに公表しなかったのはたいした事故ではないから」と危機感のない弁明をしています。このような問題は幌延だけではなく5月の東海村での加速器実験施設「J-PARC」での放射性物質漏洩事故、さらには規制委員会から指摘された福井県敦賀市の「もんじゅ」での1万2千点もの点検漏れ等、まさに原子力機構の体質そのものといわざるを得ません。

このような組織が10万年の間放射能を安全に管理しなければならない、高レベル放射性廃棄物の処分研究を続けること自体許されないことです。目の前の「危険」を地下深く隠してしまえばよいとする、新地層処分計画そのものがこのような安全軽視の体質から生まれたものです。私たちはもはや原子力機構に高レベル放射性廃棄物の処分研究を続けさせることはできません。原子力機構による幌延での「処分研究」を続けることに強く抗議するとともに、研究組織に値しない原子力機構の解体を求めます。

## 放射能基準について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 徳島県

○御質問の内容:

IAEA の基準により、一年間の被爆量が、1ミリシーベルト以下であると安全であると発表されているが、2年目、また5年目、さらに10年目、また、自然死を迎えるまで、完全に安全であると言い切れるものなのですか？  
私は、被爆量というのは蓄積されていくと思いますが。

## 原発の安全基準の基本的策定基準を問う

○年 齢 : 71歳～75歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 三重県

○御質問の内容:

一般に安全基準の策定基準は、危険の程度と頻度のかげ算で積が、防護策をとった効果として十分に小さい場合に総合的に許容され安全基準として認められる。防護策をとっても許容されない危険が完全に防護できないが、その頻度は極めて低くかけ算をしても限りなく零であるならば、許容される。

では、54基の原発で4基もが、54分の4の比率で許容されない危険を発生した。原因云々よりも、結果の評価として許容不可は明確である。これを国は許容できると判断しているのですか？

回答不能ならその旨お答え下さい。

(表題なし)

○年 齢 :記載なし

○性 別 :記載なし

○職 業 :記載なし

○都道府県名:東京都

○御意見の内容:

取り急ぎ「六ヶ所村」の核燃料サイクルの中止をお願い申し上げます